



# 登米市民病院だより

2016年9月号 Vol. 002

編集・発行 / 事務局  
TEL 0220-44-4795  
FAX 0220-22-0345  
E-mail iryo-somu@city.tome.miyagi.jp

## 院長から患者さまへ

### 【 登米市民病院からのご協力をお願い 】



院長 松本 宏

当院に通院していただいている患者様ならびにご家族の皆様、こんにちは。登米市民病院長の松本です。「外来待ち時間が長い。」「早く退院させられた。」などのお叱りをいただいております、大変申し訳ござい

せん。高齢化に伴い、当院をご利用いただいている患者様も、年々お年を召され、慢性の病気をお持ちの方も増えてきております。また、入院された高齢の方々は、筋力や体力が落ち自宅での生活が困難になったり、ご家族の負担が増大したりすることが見受けられます。このようなご負担を軽減するために、状態が安定した患者様は地元のかかりつけ医や診療所の先生方に紹介させていただき（引き続き当院を受診していただ

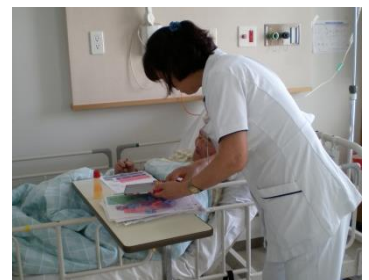
ても全然構いません。）、特殊な検査や専門性の高い病気については外来にいらしていただくとともに、入院が必要になりましたら積極的に引き受けたいと考えております。また、退院に際しては、前回の「登米市民病院だより（1号）」でお知らせいたしました地域包括ケア病棟を利用して、比較的ゆっくり退院の準備をしていたければ、患者様やご家族の負担の軽減になるのではないかと考えており、ご協力をお願いいたします。

## 病院からのお知らせ

### 南館5階に地域包括ケア病棟を開設しました

地域包括ケア病棟では、ある程度治療を終えて症状が安定した方、一人ひとりのペースに合わせて医師、看護師、専任の医療社会福祉士や専従のリハビリスタッフが患者さんの退院支援、退院後のケアについてサポートさせていただいております。

利用された方からは、「退院と言われてどうしようと思ったが、このような病棟を準備していただいて良かった。」「病室が広くて車椅子の移動も楽に出来る。」等の声をいただいております。



退院後の在宅等での生活の相談や、退院に向けてのリハビリを実施

【問い合わせ：看護部 0220-22-5511（内線226）】

## 中学生・高校生の職場体験

今年も中学校6校、高校5校の学生さんが職場体験に参加されました。参加された学生さんからは、普段見ることができない場所の見学や、患者さんの手や足を洗わせてもらうなどを体験し「気持ちよかった、ありがとう、がんばってね」などの言葉をかけられ、医師や看護師、薬剤師など、将来なりたい職業をさらに身近な目標とすることができたとの感想が寄せられました。ご協力いただき、温かいお言葉をくださった患者さんに感謝いたします。これからも、体験中の生徒さんを見かけましたら、ぜひ励ましの声を掛けてください。



患者さんの手洗い体験

【問い合わせ：看護部 0220-22-5511（内線226）】

## 糖尿病サポート チームの活動

糖尿病患者さんを支援するため、糖尿病療養指導士の資格を持つ看護師、管理栄養士、薬剤師などで結成。

市民病院で開催した『看護のひろば』や、市の『登米市活き生き健康フェスティバル』などのイベントに参加しました。

糖の吸収を抑える食事の順番や、合併症等について説明しました。相談された方と話し合い、一人ひとりの事情に応じた食事や生活習慣の改善をアドバイスさせていただきました。

また、将来の肥満を予防するため、小学生を対象に『いいうんちを作ってみよう！』というイベントを開催しました。いいうんちには、野菜が重要なことを学んでもらいました。うんちのレシピは病院ホームページに掲載しています。

『看護のひろば』

『登米市活き生き健康フェスティバル』

『いいうんちを作ってみよう！』



## 研修医の先生から

7月の1ヶ月間、地域医療研修をされていた東北大学病院大江先生のコメントを紹介します。



防災訓練で怪我等の症状により治療の優先順位を決定（トリアージ）している大江先生

研修中は、外来や病棟業務をいたしました。登米市民病院の先生方やスタッフの皆様のお力添えのおかげで、充実した研修を行うことができました。特に、外来では、内科の先生方と一緒に診察させていただき、沢山の患者様を診察させていただきました。

拙い私の診察を丁寧に指導していただいたお陰で、持ち歩いた教科書はメモで一杯になり、今後の医師人生においての一生の財産をいただきました。

また、上沼診療所で1週間往診も含めて診療させていただき、佐

々木先生のご指導のお陰で身体診察をきちんと学びました。

8月は大学病院に戻り、救急センターでの研修になりますが、登米市民病院で学んだ外来の知識を生かして頑張っていこうと考えております。

私は山形出身であり、山に囲まれた田園風景の広がる登米市にはどこか懐かしさすら感じておりました。どこかでまたこの病院で働く機会があれば感じております。

最後に1ヶ月間本当にありがとうございました。